

城山湖から草戸山へ

日時：2020年12月12日（土） 天候：曇り時々晴 健脚LV1 歩数2万2000歩 14km

集合：JR相原駅改札8時50分 バス9時02分発法政大学行き乗車

コース 法政大学バス停→穴川林道→城山湖コミュニティ広場→金刀比羅宮→龍籠山展望台→
城山湖散策路→はなさき休憩所→草戸山（標高364m、昼食）→榎窪山（標高420m）→
三沢峠→峰の薬師奥の院→峰の薬師→東参道→津久井湖城山公園水の苑地→城山大橋→
津久井湖城山公園花の苑地→津久井湖観光センター（バス）→JR橋本駅

参加者 市村(L) 中村ゆ(SL) 奥村(SL) 勅使河原 平石 熊坂 清水正 伊藤美 栗田 山田
高橋友 三田 飯田一 古尾谷 佐藤 15人

晩秋の穴川沿いの里山風景を楽しみながら、城山湖、草戸山そして津久井湖までの低山ハイキング、法政大学キャンパスからスタートしました。今回のもうひとつのおすすめポイントは、龍籠山展望台からの大パノラマです。下見（7月26日）のときに地元カメラマンがいて、「天気が良いときは谷川岳が見えるよ、今日は凄く良い眺望だ、江の島も見えるよ」と写真と突き合わせて説明してくれました。北の奥秩父の山並みから南の江の島まで180度以上の大パノラマに感激、東に新宿の高層ビル群とスカイツリーがくっきり、江の島の展望塔も確かに見えました。今回は少しかすんでいましたが、それでもかなりの展望を楽しむことができました。お手軽に上れる展望スポット、何回も来たいと思うところです。2020年の「健脚締めくりウォーキング」、「イチニイチニ」と土の感触を楽しみながらの山歩きができました。

写真は、峰の薬師の「姿三四郎決闘の場」の碑を囲んでの1枚。



JR相原駅～法政大学バス停～山茶花～里山風景の穴川沿いウォーク

集合は相原駅、初めて降りた人も多かったようです。バス停の広場には、相原駅開業100周年祭（平成20年）において作成された手形陶板が展示されていました。9時2分発のバスに乗車、終点の法政大学バス停で下車、ストレッチをして町田街道へ下りると後続のバスが到着。山茶花の花が色鮮やか、花びらが絨毯のように埋め尽くしていました。奥村サブリーダーを先頭に穴川沿いの里山風景を楽しみながら進みます。



蛭の里 クレソン 皇帝ダリア 柚子 イチョウ 白菜 烏瓜 巢箱 ススキ

境川水系の穴川は、水が澄んでいて蛭が生息しています。「ほたるの里」の表示板があり、緑鮮やかなクレソンが群生していました。林道に入ると民家もまばらにあり、高く伸びた紫の皇帝ダリア、たわわに実った艶やかな柚子、黄色のイチョウの葉が神社の参道を埋めていました。狭い耕地を利用して白菜など野菜が育てられています。赤く熟した烏瓜など色とりどりの晩秋の里山風景を楽しみながら、緩やかな上り道を進みます。木の名前は分かりませんが地上から5メートルほどのところに野鳥のための巣箱が取り付けられています。人の背丈以上のススキを左に見ながら上って行きます、その先が金刀比羅宮です。



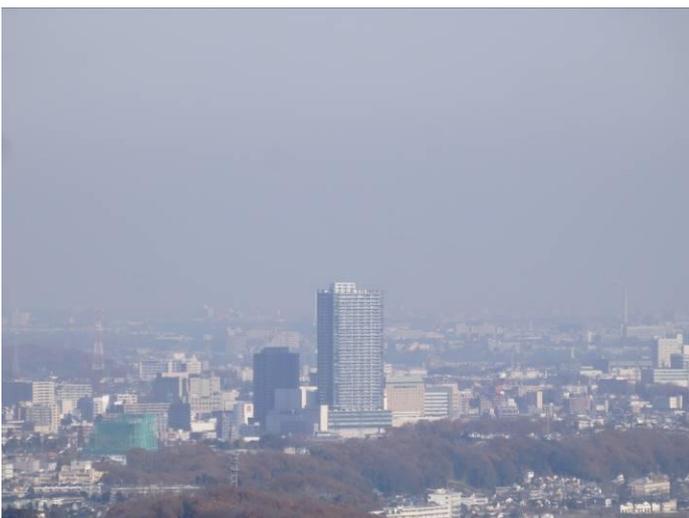
紅葉の金刀比羅宮参道～城山湖コミュニティ広場～金刀比羅宮

10時30分、金刀比羅宮参道へ。陽の光を通して紅葉が素敵でした。「この紅葉を見ただけで今日のウォーキング満足だわ」などと、写真を撮っている人もいました。林道をさらに上って10時38分、城山湖コミュニティ広場に着きました。観光客も多いのか自動車がたくさん止められていました。トイレを済ませて広場を横切り、少し階段を上り車道を進むと金刀比羅宮です。



金刀比羅宮は新年のしめ縄張り 龍籠山展望台から大パノラマに感動

金刀比羅宮は、文化元年（1804年）に地元の人たちが四国の金刀比羅宮のご神霊を頂き、この地に祀ったのが始まりで、厄除、招福の神として古くから信仰を集めています。地元の氏子の人たちによって新年を迎えるしめ縄張りが行われていました。境内には「百日の干ばつにも枯れることなし」といわれる湧水の泉がありました。少し階段を上ると龍籠山展望台、狭いところですがベンチで地元の人が景色を楽しんでいて「今日は少し展望が悪いけれど、これほど見渡せるところはないよ」と話しながら、大パノラマの景色を説明してくれました。近くに八王子の高層ビル越しに遠くまで一望です。大パノラマにしばし感動です。



かながわの公園 50 選の城山湖 ダム名は本沢ダム 広々とした堰堤歩き

展望台を下りて、かながわの探鳥地 50 選・かながわの公園 50 選の城山湖へ向かいます。エメラルドグリーンな城山湖は、津久井湖の水をポンプで汲み上げ地下発電を行うために造られたもので、ダム名は本沢ダムです。湖畔一周約 5km の散策路には野鳥観察休憩所や展望台も設置されています。広々とした堰堤の上を歩き、植木で「しろやまこ」と浮き彫りになった山肌をバックにソーシャルディスタンス写真を 1 枚。



堰堤～はなさき休憩所～分岐～境川源流入口案内板～12時2分草戸山

堰堤を過ぎるといよいよ山登り、土の感触が足に優しく感じます。急峻な木段を上って11時40分、はなさき休憩所で水分補給。一息入れて11時46分スタート、上りはまだ続きます。10分ほど上ると見えのある大地沢青少年センターへの分岐。尾根道を草戸山方面へ向かいます、「境川源流入口」の案内板が出てきました。9月19日の「境川源流を目ざす⑤」で源流から登ってきたところです。尾根道を歩き山頂直下を上って12時2分、草戸山山頂到着。昼食タイムです。12時12分、「スマホ探索」で遅れていた栗田さんと中村さんが到着、熊坂さんと三田さんが「早く着いたね」と笑顔で出迎えました。



草戸山 12時35分～尾根道～ふれあい休憩所～榎窪山（標高420m）

草戸山は町田市の最高峰で標高364m。地元の方からは、標高にちなんで「1年山」の愛称で親しまれています。栗田さん、中村さんも展望台で昼食、清水さん差し入れの「手作り干柿」も美味しそうにほおぼっていました。三田さんが「美味しそう」と栗田さんから半分ゲット。予定時間の12時35分にスタート、午後の先頭は中村SL。尾根道を3～4回アップダウンして標高を上げ、12時55分にふれあい休憩所着。水分補給、眼下に城山湖、遠くに橋本市街の展望が開けました。もうひと上りして13時7分、この日の最高峰榎窪山（標高420m）に到着。下見のときにはなかった山頂標識あり、元の標識はベンチの下です。



榎窪山～三沢峠～パラポラアンテナ～峰の薬師 「姿三四郎決闘の場」の碑

榎窪山から少し下ると三沢峠です。進行方向へ進めば「関東ふれあいの道湖のみち」、右へ下りれば梅ノ木平、左へ上れば「関東ふれあいの道峰の薬師のみち」、左へ行きます。三井山山頂に4基のパラポラアンテナがありました。ここからは下りです、峰の薬師奥の院を通りさらに下ると津久井湖の良く見えるところに出ました。紅葉も楽しんで一休み。13時33分、峰の薬師まで下りてきました。峰の薬師は、三井山山頂にある東慶寺の呼称で、武相四大薬師（高尾山薬王院、新井薬師、日向薬師、峰の薬師）の一つと言われています。「姿三四郎決闘の場」の碑を囲んで集合写真（高橋さんが写っていません、ゴメンナサイ）を1枚。



峰の薬師～東参道下り～参道入口～14時20分津久井湖城山公園水の苑池

13時40分、東参道から津久井湖をめざしてアスファルト舗装を一路下り開始。みなさん、草戸山と榎窪山を踏破して達成感一杯、談笑しながらかなりの速さで下ります。参道入口まで来ると民家があり、畑に季節外れのひまわりの花が一輪咲いていました。中村サブリーダーを先頭に長い列が続きます。14時20分、津久井湖城山公園水の苑池到着、トイレ休憩。津久井湖は、相模川をせき止めて造られた湖で、京浜地帯の飲料水や工業用水を供給しています。津久井湖のダム名が城山ダムです。昨年10月12日の台風19号で、城山ダムが21時半に放流を実施、23時50分ごろには相模大橋で氾濫危険水位超えになりました。



水の苑池～城山ダム～花の苑池 歩数:2万2000歩 距離:14km

水の苑池を出て、城山ダムの上の城山大橋を渡ります。湖越し右奥に1時間半ほど前に歩いていた三井山のパラボラアンテナが小さく見えます。14時45分、津久井湖城山公園花の苑に着きました。ガーデンテラスでクールダウン、歩数：2万2000歩、距離：14kmでした。



前々日の12月10日の新型コロナウイルス新感染者数は、全国で2938人と過去最多、東京も過去最多の602人、神奈川も214人と多数でした。三密（密閉空間、密集場所、密接会話）を避けてのウォーキングを心がけました。

なに気ない日常、明るく楽しいウォーキングができる喜びをかみしめた「城山湖から草戸山へ」でした。2021年、新型コロナウイルス感染収束して、安全・安心で楽しいウォーキングをしたいと思います。

(いちむら記)